

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日 令和 2 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 所属課, 課長名, グループ, 担当者名, 事業期間, 一般会計, 戸籍住民基本台帳事業, etc.

法令根拠 桜川市旅券事務実施要綱

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on passport application procedures and office hours.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for 手段 (担当者活動内容), 対象 (誰、何を対象にしているのか), 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), and 5-year performance indicators (30年度 to 04年度).

Table showing (3) 投入量 (事業費) の推移 with columns for 30年度 (実績), 01年度 (実績), 02年度 (計画), and 期間限定総投入量. Includes sub-categories like 国庫支出金, 県支出金, etc.

Table showing 事業費の内訳 with columns for 01年度事業費 実績 (千円) and 02年度事業費 予算 (千円). Includes rows for 12 役務費 and a total (合計).

事務事業名	旅券受付・交付事務	事務事業No.	60304000426	所属課	市民課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 旅券法の一部を改正する法律施行（平成18年3月）により、茨城県知事からの権限に属する事務処理の特例に関する条例が改正され、旅券事務の権限移譲により、平成21年10月1日から桜川市役所で行うようになった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市民の要望により、日曜日の9時から12時まで旅券交付事務を追加して行っている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 旅券の発給は市民が必要としており、ニーズが高い。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県からの権限移譲による事務である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 申請書に基づく事業であり、向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 従来どおり県内のパスポートセンターで申請交付を行うため、市民が手続きに要する負担が大きくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業は無いことから統廃合及び連携は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限の事業費を算定している。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 旅券の発給は受給者が負担することが適当であり、サービスの提供は公平・公正な均一した対応を行っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	旅券事務は県からの権限移譲による事務であり、平成21年10月1日から行っている。平成22年12月から日曜日の交付を開始したため、市民に対してより良いサービスを提供することができた。平成23年度から事業の結果と上位成果指標を変更した。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	②																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>